

平成15年度「経済学と現代」昼間コース 一期末試験問題一

【問1】短期費用関数に関する正しい記述（1つ）は、次のうちどれか？（5点）

- （1）短期総費用には、生産量にかかわらず一定の費用は含まれない。
- （2）生産費用の中に固定費用が存在するような期間を長期という。
- （3）平均可変費用は、短期平均費用から平均固定費用を除いたものである。
- （4）限界費用曲線は平均可変費用曲線の最低点を通るが、短期平均費用曲線の最低点を通るとは限らない。

【問2】短期利潤最大化に関する誤った記述（1つ）は、次のうちどれか？

（5点）

- （1）完全競争市場において、企業は価格受容者として行動する。
- （2）短期において、財の市場価格がある企業の限界費用を上回っていれば、その企業は財の生産を増やす誘因を持つ。
- （3）短期において、財の市場価格がある企業の限界費用を下回っていれば、その企業は財の生産を増やす誘因を持つ。
- （4）固定費用が存在するために、企業は赤字（負の利潤）があっても操業を続ける場合がある。

【問3】生産関数に関する誤った記述（1つ）は、次のうちどれか？（5点）

- （1）生産関数は生産要素投入量と生産量との間の関係を示したもので、企業の生産技術は反映されていない。
- （2）限界生産物とは、生産要素の追加投入から得られる生産量の増加分のことである。
- （3）短期費用関数は、固定的生産要素が存在する生産関数から導出される。
- （4）S字形の生産曲線からは、逆S字形の短期費用曲線が描かれる。

【問4】市場均衡に関する正しい記述（1つ）は、次のうちどれか？（5点）

- （1）市場需要曲線は、個々の需要曲線を垂直方向に上乗せすることによって得られる。
- （2）ワルラス的価格調整が行われる市場においては、超過需要があれば価格が下落し、超過供給があれば上昇するように調整される。
- （3）マーシャル的数量調整が行われる市場においては、需要価格が供給価格を下回れば数量は増加するように調整される。
- （4）市場供給曲線が右下方にシフトすれば、均衡価格は下落し、均衡数量は増加する。

【問5】 以下に関して経済的な説明を与えなさい。（計10点）

- （1）市場価格＝限界費用を満たす生産量が企業の短期利潤を最大にするのはなぜか？（5点）
- （2）企業は赤字を負っても操業を続ける場合があるが、なぜか？（5点）

【問6】 ある企業の生産量を q とし、短期費用関数が以下のように与えられる。

$$C = q^3 - 3q^2 + 12q + 12 \quad (\text{計30点})$$

- （1）平均費用，平均可変費用，限界費用をそれぞれ求めなさい。（10点）
- （2）市場価格が21であるとき、この企業にとっての最適生産量と利潤を求めなさい。ただし、 $q \geq 0$ である。（10点）
- （3）市場価格が9であるとき、この企業は操業を停止することを示しなさい。（10点）

【問7】 ある財の価格を p ，数量を x で表し、 DD 曲線を市場需要曲線， SS 曲線を市場供給曲線とする。（計20点）

- （1）市場需要曲線，市場供給曲線，市場均衡点，および均衡価格を解答欄のグラフに描きなさい。（6点）
- （2）市場均衡における社会的余剰を解答欄のグラフに描きなさい。（6点）
- （3）解答欄のグラフにある x' が市場全体の供給量であるとき、死荷重損失（厚生損失）をグラフに明示しなさい。ただし、 x^* は市場における均衡数量を表す。（8点）

【問8】 ある財の価格を p ，数量を x で表し、 DD 曲線を市場需要曲線， SS 曲線を市場供給曲線とする。さらに、この財の外国からの輸入を禁じたときの国内均衡価格を p' ，自由貿易下での価格（世界価格）を p^* とする。

（計20点）

- （1） $p' > p^*$ であるとき、自由貿易の利益（社会的余剰の増加分）を解答欄のグラフに明示しなさい。（8点）
- （2）政府が輸入品1単位あたりに t の関税を課すものとする。 $p' > p^* + t$ であるとき、この関税政策による死荷重損失（厚生損失）と政府の関税収入を解答欄のグラフに明示しなさい。（12点）